



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月4日

上場会社名 伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2296 URL <http://www.itoham-yonekyu-holdings.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 功

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部IR室長 (氏名) 高武 彰

TEL 03-5723-6889

四半期報告書提出予定日 2019年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	659,036	2.5	14,773	21.0	15,845	22.9	10,860	24.7
2018年3月期第3四半期	642,932	5.0	18,702	3.8	20,552	8.9	14,418	16.5

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 10,374百万円 (25.6%) 2018年3月期第3四半期 13,939百万円 (1.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	36.74	36.71
2018年3月期第3四半期	48.59	48.54

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	398,280	225,170	56.2
2018年3月期	376,204	219,861	58.1

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 223,861百万円 2018年3月期 218,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		17.00	17.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	850,000	2.2	15,000	30.4	16,000	34.5	10,500	33.5	35.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	297,355,059 株	2018年3月期	297,355,059 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	1,965,925 株	2018年3月期	1,838,394 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	295,645,582 株	2018年3月期3Q	296,769,811 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、決算発表後、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな景気回復基調で推移しましたが、海外では米中貿易摩擦の長期化が世界経済に及ぼす影響が懸念されるなど、先行きについては不透明な状況が継続しております。

当業界におきましては、原材料を含めた生産コストの上昇及び物流コストの高止まりが続く中、食料品等の日常生活品に対する消費者の低価格志向は依然根強く、厳しい事業環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは「私たちは事業を通じて、健やかで豊かな社会の実現に貢献します」をグループ理念に、「フェアスピリットと変革への挑戦を大切に、従業員とともに持続的に成長する食品リーディングカンパニー」をビジョンとして掲げ、チャレンジ精神を持って「中期経営計画2020」に掲げた施策等に取り組んでおります。また、本計画の最終年度の2021年3月期には、売上高1兆円、経常利益300億円、経常利益率3%以上の業績目標を達成すべく、グループ一丸となって取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、前年同四半期に比べて161億3百万円増加して6,590億36百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。営業利益は、前年同四半期に比べて39億28百万円減少し、147億73百万円（前年同四半期比21.0%減）となりました。また、経常利益は、前年同四半期に比べて47億7百万円減少し、158億45百万円（前年同四半期比22.9%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に比べて35億58百万円減少し、108億60百万円（前年同四半期比24.7%減）となりました。

報告セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

<加工食品事業>

ハム・ソーセージについては、消費者キャンペーン等の実施により、「The GRAND アルトバイエルン」「朝のフレッシュシリーズ」「ポークピッツ」「原形ベーコンシリーズ」等の主力商品は総じて堅調に推移しましたが、業務用商品の伸び悩み等もあり、売上高は減少しました。

調理加工食品については、消費者の簡便志向・健康志向に対応した商品提案を強化し、テレビコマーシャルを投入した「ラ・ピッツァシリーズ」などのピザ・スナック類や「サラダチキン」などのチキン商品が好調に推移しました。また、ハンバーグ・ミートボール類やトンカツなどのフライ商品に加え、「レンジでごちそうシリーズ」などの簡便調理をアピールした商品の拡販に努め、販売数量を伸ばした結果、売上高は増加しました。

ギフトについては、市場全体が縮小する中、「伝承」をはじめローストビーフや調理品ギフト等の拡販に努めた結果、歳暮商戦においては販売数量、売上高ともにほぼ前年並みとなりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の加工食品事業の売上高は、前年同四半期に比べて37億78百万円増加し、2,284億55百万円（前年同四半期比1.7%増）、営業利益は、生産及び物流コストの上昇分を販売価格に転嫁しきれなかったことから、前年同四半期に比べて27億99百万円減少し、82億15百万円（前年同四半期比25.4%減）となりました。

<食肉事業>

国内事業については、新規取引先の獲得や国内生産者との連携強化とともに、オリジナルブランド等の付加価値の高い商品の拡販に努めて売上高は増加しました。牛肉は、国産牛肉の相場高に加え、輸入牛肉も含めた調達コストの上昇の影響を受けましたが、販売数量が伸びたことから売上高は増加しました。豚肉は、オリジナルブランドの「アルティシモ・リバサム」「麦の誉」「菜の花そだち三元豚」が伸長しましたが、国産豚肉の相場下落の影響を受けて、売上高は減少しました。鶏肉は、「大地のハーブ鶏」の積極展開等に努めましたが、国産・輸入ともに前年の相場高の反動を受けた販売単価下落等の影響により、売上高は減少しました。

海外事業については、アンズコフーズ社は、売上高は増加したものの、調達コストの上昇等の影響を受けて、収益面では苦しい状況となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の食肉事業の売上高は、前年同四半期に比べて123億23百万円増加し、4,273億71百万円（前年同四半期比3.0%増）、営業利益は、前年同四半期に比べて9億44百万円減少し、70億50百万円（前年同四半期比11.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて220億75百万円増加し、3,982億80百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、たな卸資産、有形固定資産の増加等と現金及び預金の減少等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて167億66百万円増加し、1,731億9百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、短期借入金の増加等と長期借入金の減少等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて53億9百万円増加し、2,251億70百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における生産コストの上昇や海外事業の収益環境の悪化等の影響を踏まえ、改めて今後の業績見通しを検討した結果、2018年9月18日に公表した2019年3月期の連結業績予想について、以下のとおり修正いたします。

2019年3月期連結業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	850,000	20,000	21,000	14,000	47.35
今回修正予想(B)	850,000	15,000	16,000	10,500	35.52
増減額(B-A)	—	△5,000	△5,000	△3,500	
増減率(%)	—	△25.0	△23.8	△25.0	
(参考)前期連結実績 (2018年3月期)	831,865	21,562	24,423	15,784	53.22

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,585	16,556
受取手形及び売掛金	94,056	121,873
商品及び製品	66,042	67,060
仕掛品	1,739	1,312
原材料及び貯蔵品	18,491	20,471
その他	3,557	4,453
貸倒引当金	△8	△11
流動資産合計	213,465	231,716
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,053	35,285
機械装置及び運搬具（純額）	25,041	29,655
工具、器具及び備品（純額）	1,328	1,504
土地	25,901	25,416
リース資産（純額）	1,539	1,587
その他（純額）	2,870	4,533
有形固定資産合計	89,735	97,983
無形固定資産		
のれん	24,109	22,956
その他	1,706	1,493
無形固定資産合計	25,816	24,450
投資その他の資産		
投資有価証券	31,618	28,602
退職給付に係る資産	8,231	8,761
その他	7,458	6,888
貸倒引当金	△122	△122
投資その他の資産合計	47,186	44,130
固定資産合計	162,738	166,564
資産合計	376,204	398,280

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	63,944	70,105
電子記録債務	1,637	2,030
短期借入金	21,395	39,808
1年内返済予定の長期借入金	4,964	5,806
未払法人税等	2,502	939
賞与引当金	5,985	3,048
役員賞与引当金	187	121
その他	27,147	29,789
流動負債合計	127,765	151,650
固定負債		
長期借入金	20,071	11,414
退職給付に係る負債	1,581	1,611
資産除去債務	1,207	1,210
その他	5,716	7,222
固定負債合計	28,577	21,459
負債合計	156,343	173,109
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,003	30,003
資本剰余金	96,289	96,301
利益剰余金	90,031	95,874
自己株式	△1,824	△1,849
株主資本合計	214,499	220,330
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,013	5,453
繰延ヘッジ損益	△789	△1,081
為替換算調整勘定	△2,387	△2,084
退職給付に係る調整累計額	1,277	1,243
その他の包括利益累計額合計	4,113	3,530
新株予約権	257	139
非支配株主持分	990	1,169
純資産合計	219,861	225,170
負債純資産合計	376,204	398,280

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	642,932	659,036
売上原価	539,540	557,009
売上総利益	103,392	102,026
販売費及び一般管理費	84,690	87,253
営業利益	18,702	14,773
営業外収益		
受取利息	70	94
受取配当金	330	389
受取賃貸料	295	321
持分法による投資利益	1,392	56
その他	582	1,048
営業外収益合計	2,672	1,910
営業外費用		
支払利息	688	703
不動産賃貸費用	106	115
その他	28	20
営業外費用合計	822	839
経常利益	20,552	15,845
特別利益		
投資有価証券売却益	742	562
保険料収入	—	301
段階取得に係る差益	—	288
その他	202	4
特別利益合計	945	1,158
特別損失		
固定資産除却損	147	230
投資有価証券評価損	36	13
災害による損失	—	287
その他	107	2
特別損失合計	290	534
税金等調整前四半期純利益	21,206	16,468
法人税、住民税及び事業税	5,662	4,475
法人税等調整額	1,235	1,057
法人税等合計	6,897	5,532
四半期純利益	14,309	10,936
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△109	75
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,418	10,860

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	14,309	10,936
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	725	△399
繰延ヘッジ損益	△46	△291
為替換算調整勘定	△550	△169
退職給付に係る調整額	△59	△33
持分法適用会社に対する持分相当額	△438	331
その他の包括利益合計	△369	△562
四半期包括利益	13,939	10,374
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,182	10,278
非支配株主に係る四半期包括利益	△242	95

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業	食肉 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	224,677	415,047	639,725	3,207	642,932	—	642,932
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,858	22,239	25,097	16,832	41,929	△41,929	—
計	227,535	437,286	664,822	20,039	684,862	△41,929	642,932
セグメント利益	11,014	7,994	19,009	607	19,617	△915	18,702

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び人事給与関連業務サービス等であります。

2. セグメント利益の調整額の主な内容は、のれんの償却額△1,041百万円等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業	食肉 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	228,455	427,371	655,827	3,209	659,036	—	659,036
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,809	19,870	22,679	17,906	40,586	△40,586	—
計	231,265	447,241	678,506	21,116	699,623	△40,586	659,036
セグメント利益	8,215	7,050	15,265	247	15,513	△739	14,773

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び人事給与関連業務サービス等であります。

2. セグメント利益の調整額の主な内容は、のれんの償却額△1,041百万円等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。